

12月の産地情報

輪菊	白菊	愛知、静岡中心で昨年並みの作付け量があり、下旬は上位等級の割合が減少する見込み。沖縄は昨年比100%の出荷計画となっている。
	黄・赤菊	愛知、静岡、沖縄中心で、静岡、愛知産は昨年よりやや少ない見込み。沖縄産は出荷計画数量が昨年比約120%となっているが、昨年の出荷量が大きく減少した為例年よりはやや少ない見込み。
小菊		沖縄、静岡中心で、昨年より出荷量が増加する見込み。色バランスも良く、上旬、中旬は安定した出荷が見込まれる。
SP・ディスプレイバッド		・SP:愛知、静岡、栃木、鹿児島中心で、作付けは昨年並み。上位等級は少な目で、今の所は遅れなどは見られない。 ・ディスプレイバッド:愛知・静岡中心。作付けは昨年に比べ若干減少しているが、中旬からは増加してくる見込み。
バラ		高冷地は少なくなり、暖地・輸入中心で上位等級が中心。赤系を中心に引き合いが強くなる。
カーネーション		千葉、静岡、愛知、香川など暖地中心で、秋の日照不足と気温の低下により数量が爆発的に増える事は無さそう。また、L~2Lクラスが主体となってくる。クリスマス・年末需要に向けて輸入は増加する見込み。
ガーベラ		静岡中心。各産地加温も始まり全体量は増えてくるが、中旬以降はクリスマス・年末に合わせて注文も多くなり、レギュラーの出荷分は少なくなる見込み。
かすみ草		和歌山、熊本中心。定植時期の高温を受け、欠株の報告もあり。例年と比較すると少な目で推移しそう。
リシアンサス		定植を後ろ倒しにした産地もあり、昨年よりは多い見込み。年末需要など、上位等級を中心に強い引き合い。
ユリ	オリエンタル	高知、新潟、千葉中心。球根の輸入量も年々減少し、高知は昨年より大きく数量減となっており、今期においても1割ほど減少する見通しで、その分注文比率が高まる可能性が高い。中旬より増加。
	スカシ・鉄砲	・透かし(LAユリ):千葉、埼玉中心で、作付けは減少傾向。こちらもオリエンタルユリと同様。 ・鉄砲ユリ:開花球導入は例年並みの見込み。韓国産の提案もあるが、昨年と比較すると20円程度値上がり。出荷は20日頃からの見込み。
洋ラン類		・オンシジューム:国産輸入共に数量減。・カトレア:横ばい少なめの出荷が続く。 ・シンビジューム:輸入の出荷が終了の為、国産メインでの出荷となる。出荷時期は中旬頃。 ・デンファレ:気温低下により国産輸入共に数量減。 ・ファレノ:大輪V3などは輸入中心。ミディは国産中心で数量は多くない。 ・蘭類:モカラ、バンダ、レナンセラは概ね横ばい予想。
季節もの		・ストック/スナップ:東北産は概ね順調な生育。昨年より1週間ほど早く進んでいる。11月下旬頃からまとまった出荷量となる見込み。 ・チューリップ:昨年並みの出荷見込み。下旬から数量は増加。 ・葉ボタン:11月から冷え込み、色のりが良くなっている。長期予報でも12月の気温が下がる見込みの為、色戻りの心配はないだろう。12月から順調出荷の見込み。